

第9回 たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会 が開催されました

テーマ：「エンド・オブ・ライフ期のスキンケア」

日時：2017年4月8日(土) 14:00～16:30

場所：国立看護大学校 研修棟（東京都清瀬市）

参加：今回、病院・訪問看護ステーションの看護職・介護職・看護学生の計20名の参加があり、幅広い意見交換ができました。



①交流会代表 挨拶

（救世軍清瀬病院
看護部長 笠原嘉子）



②話題提供 「エンド・オブ・ライフ期のスキンケア」

公立昭和病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 新井陽子氏

エンド・オブ・ライフ期の皮膚の特徴をふまえ、スキンケアの基本である洗浄・保湿・保護を丁寧にする、ポジショニングを工夫すること、そしてご本人とご家族の方法を考えることが大切であるとお話し頂きました。



③グループで意見交換

小グループに分かれて、スキンケアの技術や工夫について情報交換、意見交換を行いました。



参加者の感想（抜粋）

「患者さんのエンドオブライフ期におけるケアの優先度を考える点について、大変参考になりました。」
「情報交換会では、普段の入浴時の洗浄や軟膏塗布の方法を確認する必要性があることに気付きました。」
「スキンケアのスキルやテクニック、物品・材料などについて、他施設から学び合うことができました。」
「在宅の終末期の意思決定、急性期の認知症ケアなど、学びを深める必要のある課題もみえてきました。」
「次の機会も楽しみにしています。ありがとうございました。」

第10回交流会のご案内

日時：2017年7月15日(土) 14:00～16:30

場所：国立看護大学校 研修棟

「倫理的な視点をふまえて～高齢者の自律／自己決定を支える～」
 についての話題提供の後、皆様との意見交換を行います。

詳細はホームページ <http://tama-elc.umin.ne.jp/> もご覧ください。

次回もお待ちしております。

たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会
救世軍清瀬病院

笠原嘉子・河端みのり・相良君映・大石恵子
国立看護大学校

飯野京子・綿貫成明・長岡波子